

2026

議会だより

ふそふ

第269号

4・5月臨時会
6月定例会



(5月25日 ペーパーレス化に向けてシステム研修を行いました)

主な内容

- 6月定例会の概要 P4
- **ここが聞きたい** 11議員が一般質問 P6 ~P11
- 視察・研修報告 P12

発行／扶桑町議会 編集／議会だより編集特別委員会

〒480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字天道330 TEL : 0587-92-4130 FAX : 0587-92-1381 E-mail:gikai_sc@town.fuso.lg.jp 発行日／令和8年8月1日

副議長

杉浦 敏男

(桑政クラブ)



このたび、副議長に就任いたしました杉浦敏男でございます。伝統ある扶桑町議会の副議長という大任を拝し、誠に光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感しているところです。微力ではございますが副議長として千田議長を支え、議会の円滑な運営と扶桑町の更なる発展のため精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。行政と真摯に議論を重ね、様々な課題を乗り越えていく所存でございます。また、町民の皆様の付託と信頼に応え、すべての町民が元気で幸せに暮らすことができる活力あるまちを実現できるよう、取り組んでまいります。町民の皆様に、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

監査委員

澤田 憲宏

(桑政クラブ)



一言ご挨拶をさせていただきます。

多くの議員の皆様方にご同意を賜りました。感謝を申し上げますとともに身の引き締まる思いであります。

二度目の監査ではありますけれども、地方自治法の一部が改正された中、そして議選監査委員のことが様々な場面で議論される中ではありますけれども、地方自治法にあります監査の職務をしっかりと認識をし、職務を全うしていきたいというふうに思います。

ぜひとも皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

議会運営委員長

丹羽 友樹

(ふそう立志会)



本年度、議会運営委員長という大役を仰せつかりました。議会運営委員会は、会議の日程や案件を決めるなど、円滑で公正な議会運営を支える重要な役割を担っております。

佐藤副委員長をはじめ、委員の皆さまのお力添え、ご協力をいただきながら、町民の皆さまに信頼される開かれた議会となるよう努めていく所存です。円滑な議会運営と、より良い扶桑町の発展のため、誠心誠意取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

所属委員

丹羽友樹、佐藤智恵子、大河原光雄、和田佳活、荒木孝三、伊藤猛、間宮幹男

議会だより 編集特別委員長

山田 惇起

(無所属)



この度、議会の発信の要である議会だより編集特別委員会の委員長職を拝命いたしました。

私は議員当選後、SNSや毎月の活動報告配布など、議会の透明化と情報発信に努めてきました。委員長への指名は、これまでの2年間の議員活動を評価していただいた結果だと重く受け止めています。

生成AIの積極的活用、視察報告の導入など、扶桑町議会をさらに身近に、わかりやすく感じていただけるよう、他の委員と力を合わせて取り組んでまいります。

所属委員

山田惇起、佐藤智恵子、荒木孝三、近藤裕、市橋英男、片野泰雅、高橋怜央

議会の役職が 変わりました!

令和8年5月15日(金)に行われた臨時会で、議長をはじめ議会の役職が変わりました。

今回の議会だよりでは、新たな役職に就いた議員から挨拶や方針、抱負などを掲載いたします。

(特集ページや一般質問ページでは、議員の提出原稿をそのまま掲載しています)

議長

千田 勝文
(新政クラブ)



町民の皆様には、平素より町議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。このたび、5月臨時議会において議員各位のご推挙を賜り、議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、その重責を痛感しております。これまで以上に「開かれた議会」を目指し、議会改革に努めてまいります。

今年度は、ペーパーレス化を進め資料管理を簡便化し議論の効率化や質の向上、災害時や緊急時においても迅速に情報共有できる体制づくりに努めます。今後も、町民の皆様にとって、より身近でわかりやすく信頼される議会を目指し、公正で円滑な議会運営に努めてまいりますので、より一層のご支援をお願い申し上げます。

総務経済 常任委員長

大河原 光雄
(ふそう立志会)



このたび、2度目の総務経済常任委員長を拝命いたしました。総務経済常任委員会は、町政運営の根幹となる総務分野に加え、地域経済や産業振興など、町民生活に直結する幅広い課題を所管しております。

また、予算決算特別委員会委員長も兼務いたしますので、限られた財源を効果的に活かすため、扶桑町が抱える重要課題に対し実効性のある議論を進め、町民の皆さまの安心と未来につながる委員会運営に努めてまいります。

所属委員

大河原光雄、高橋怜央、丹羽友樹、澤田憲宏、伊藤猛、間宮幹男、山田惇起、千田勝文

福祉教育 常任委員長

和田 佳活
(新政クラブ)



全ての人が福祉の対象であり、幸福で安定した生活の達成を目指すことを基本的な目的とする。未来のある子どもを地域とともに育てる。学びやスポーツを通して、町民の豊かな暮らしを創る。

福祉、学校教育、生涯学習の環境整備、子ども子育て支援の量の拡大、質の向上等、施策の実現に向けて委員の皆様と共に、それぞれが知恵を出し合い、議論を深めます。

所属委員

和田佳活、片野泰雅、佐藤智恵子、杉浦敏男、兼松伸行、荒木孝三、近藤裕、市橋英男

6月定例会の概要

令和8年6月1日から18日まで開催。

今回の定例会では、一般会計・特別会計の補正予算をはじめ、条例の制定、固定資産評価審査委員会委員の選任および農業委員会委員の任命同意など、全29案件を審議し、賛成全員で可決しました。(万円未満切り捨て)

条例改正

主な内容

●扶桑町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

こども誰でも通園制度が全国的に始まったことに伴い、町内で事業者が運営するための基準を定めるものです。



一般会計補正予算(第3号)

主な内容

●水泳指導支援業務委託料

262万円

扶桑北中学校プール使用不能のため、民間施設において効率的かつ安全安心な水泳授業を実施するための委託費用です。

物品購入契約の締結

●グループウェアパソコン等購入

2002万円

行政業務のデジタル化(DX)を推進し、業務効率化を図る、機器一式を購入するための契約です。



国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

主な内容

●会計年度任用職員人件費

9万円

介護保険特別会計補正予算(第1号)

主な内容

●介護保険システム改修委託料

185万円

下水道事業会計補正予算(第1号)

主な内容

●資本的収入予定額の補正で、国庫補助金の減額に伴い、企業債と他会計出資金合わせて4785万円を財源更正します。

同意案

各委員の選任・任命について同意しました。

●固定資産評価審査委員会委員

2名

●農業委員会委員

14名

固定資産評価審査委員会委員や農業委員会委員の役割って何？



固定資産評価審査委員会委員は、固定資産税の価格に関する不服申し立てを中立的な立場から審査するよ。

農業委員会委員は、農地の優良化や利用調整、地域の担い手育成など農業振興を担っているんだよ。



※詳細な議事録は町議会ホームページでもご覧いただけます。

福祉教育常任委員会

扶桑町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

問 制度導入により、子育て家庭には、どのような効果が期待できるか。

答 こども誰でも通園制度に基づく事業を実施する事業者が現れば、利用者の選択の幅が広がる。

一般会計補正予算(第3号)

問 低濃度PCB廃棄物収集運搬処分業務委託料として、柏森・扶桑東小学校2校分計上されているが、高雄・山名小学校の変圧器は改修済みなのか。

答 コンデンサ、変圧器の製造年を確認し、古いものではなく、低濃度PCBの含有はないということに対応した。



(扶桑東小学校の変圧器)

介護保険特別会計補正予算(第1号)

問 介護報酬改定の内容において、介護報酬の対象者の枠が増えたという理解でよいのか。

答 6月に介護職員の改定を行い、これまで含まれていなかった訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅介護支援事業所といったケアマネジャー等の枠が広がり、処遇改善が加算される。8月に食費・居住費の改定が行われて、これまでどおり利用者の方の負担となり対象枠の変更はない。



福祉教育常任委員会への付託案件として、議案6件を審査しました。

総務経済常任委員会

総務経済常任委員会への付託案件として、議案8件を審査しました。

4月臨時会

令和8年4月24日(金)に臨時会を開催し、条例改正2件、補正予算1件の審議を行いました。

一般会計補正予算(第1号)

歳入予算の総額内において、内容を変更しました。総額132億6800万円となっています。

歳入

町税
地方特例交付金 ▲588万円
588万円

軽自動車税の環境性能割廃止に伴う措置です。

5月臨時会

令和8年5月15日(金)に臨時会を開催し、人事案件5件、同意案、補正予算各1件の審議を行いました。

一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ649万9千円を追加し、総額132億7449万9千円となっています。
主な内容は、次のとおりです。

歳出

地域自治振興費(臨時)

110万円

自治総合センターコミュニティ助成金(宝くじ助成金)を受け、柏

森レインボーコミュニティ推進協議会に備品購入費等として助成するものです。



消防団活動費(臨時)

121万円
消防団防火服10着を購入するものです。

小学校校舎施設宮繕工事費

125万円
保守点検結果により、柏森小学校の自動火災報知設備、防排煙設備、屋内消火栓の一部、山名小学校の防排煙設備の一部の改修を行うものです。

中学校校舎施設宮繕工事費

293万円
保守点検結果により、扶桑北中学校の防排煙設備、自動火災報知設備、避難口誘導灯、屋内消火栓の一部の改修を行うものです。

一般質問

11議員が質問

扶桑町ホームページ
「一般質問録画配信」



「扶桑町議会 一般質問
通告書一覧」



「自転車の青切符制度」町の対応は

基本的な呼びかけを継続する



ふそう立志会
おおかわら みつお
大河原光雄 議員



問 本年4月から自転車に対する青切符制度が導入された。町民への正確な情報提供と安全教育の充実が求められると考えるが、町としての対応は。

答 生活安全部長 住民意見として、違反行為となる対象全てを把握することが困難との声があり、資料を使い説明している。町としては、自分や周りの人のため安全を優先して行動するよう、基本的な呼びかけを継続することが重要と考える。

問 本年4月から自転車に対する青切符制度が導入された。町民への周知活動は。

答 教育長 小中学生は青切符の対象ではないが、自転車も自動車と同様、交通ルールを守るべき社会的な義務であることと再認識させる極めて重要な機会であると捉えている。

問 本町の「3人乗り自転車貸与事業」の今後の取り組みは。

答 教育部長 普及啓発に一定の役割を果たしたことで、事業の継続や廃止、また、新たな事業への展開なども検討していく。

問 文科省より交通反則通告制度（青切符）の導入により、効果的な交通安全教育の推進に



（出典：警察庁ウェブサイト）

質問者

件 名

ページ

大河原光雄	「自転車の青切符制度」町の対応は	6
片野 泰雅	避難所の停電対策は	7
市橋 英男	文化財の保護と支援等は	7
伊藤 猛	資源ごみ回収拠点の将来的な移設は	8
佐藤智恵子	安心して授乳・搾乳できる環境整備を	8
山田 惇起	期日前投票宣誓書の改善を	9
杉浦 敏男	地域協働についての考えは	9
高橋 怜央	児童・生徒による特別活動の考えは	10
間宮 幹男	町道の安全管理は	10
荒木 孝三	自衛隊員募集にかかる情報提供は	11
兼松 伸行	不登校生徒の家族への支援は	11

避難所の停電対策は

LPガス燃料で停電対策



新政クラブ
かたの たいが
片野 泰雅 議員



問 停電情報の収集方法について、発災時、町内の停電状況や復旧見込みなどのインフラ情報をどのようなツールや手段を用いて迅速に把握・収集するのか。

答 生活安全部長 公開されている中部電力のサイトや、スマートフォンアプリ「停電情報お知らせサービス」などを活用する。

や、その運用体制についてはどのようなになっているか。

答 生活安全部長 令和7年度には、大規模災害時に避難所として開設する4小学校の体育館にLPガスを燃料とする自立型ガスヒートポンプエアコンを設置しており、エアコン、

非常用照明、非常用コンセントが使用できるほか、燃料を補給することにより継続的に運転が可能となる。また、令和8年度中に2中学校の体育館にもLPガスを燃料とする自立型ガスヒートポンプエアコンを設置する予定である。

非常用照明、非常用コンセントが使用できるほか、燃料を補給することにより継続的に運転が可能となる。また、令和8年度中に2中学校の体育館にもLPガスを燃料とする自立型ガスヒートポンプエアコンを設置する予定である。



(災害対応型LPガスバルク)

文化財の保護と支援等は

町民の文化向上に努めていく



新政クラブ
いちはし ひでお
市橋 英男 議員



問 現存する町の文化財と現状把握は。

答 教育部長 国の登録有形文化財が6、県の指定文化財が2、町の指定文化財は19で、合計27の文化財がある。現状把握は、文化財保護審議会委員が年1回巡回して状況等を確認し維持管理に努めている。

問 文化財の支援に関わる過去の実績は。

答 教育部長 令和6年度に県指定の長泉塚古墳の環境整備として、樹木伐採と塀の撤去およびフェンスの新設に、令和7年度には正覚寺の建て替えに伴い町指定の十二神将像

の防犯設備として警備機器等の新設に補助金を交付した。また、町指定の文化財には、美術工芸品は年5千円、無形民俗文化財は年1万円を維持管理のために交付している。

問 文化財の保護と活用は。

答 教育部長 今年度、中央公民館に文化財資料室を開設し町保有の文化財を展示する。また、儀典用端折長柄傘を常設展示し、町が誇る伝統的な工芸技術を多くの方に知っていただくことで、郷土愛と誇りを培っていただけることを目指して準備を進めている。



(儀典用端折長柄傘)

問 文化財の支援等について町の考えおよび今後の対応は。

答 教育部長 今後も町内にある文化財の保存および活用のために必要な措置を講じ、町民の文化向上に資することができるよう努めていきたい。

資源ごみ回収拠点の将来的な移設は

移設についての考えを整理



桑政クラブ
いとう たけし
伊藤 猛 議員



が多く訪れる土曜日の交通安全対策なども課題である。これらの現状を踏まえ、検討の必要性は認識している。今後の課題として、将来的な移設についての考えを整理していく。

問 県道浅井犬山線から資源ごみ回収拠点に進入する町道105号線は道路幅が狭く利用者は大変不便をしている。町道105号線は河川区域内にあり国の指導を受けて拡幅事業を進めなければならない。多大な費用がかかる。と聞いている。町道の拡幅問題もあり、いろいろな考えもあると思うが資源ごみ回収拠点の将来的な移設についての考えは。

答 生活安全部長

回収拠点は平成19年4月の開設以降、19年が経過している。現在もたくさんの方が利用している。点に加え、公園利用者



(資源ごみ回収拠点)

安心して授乳・搾乳できる環境整備を

既存部屋・スペースを柔軟に活用



公明党
さとう ちえこ
佐藤智恵子 議員



問 町内授乳室設置状況は。

答 総務部長 専用部屋を設置しているのは児童センターのみ。その他の施設については、必要に応じて、既存の部屋を授乳スペースとして開放している。例えば保健センターでは、空いている部屋をパーテーションで囲い対応している。随時、臨機応変に対応している。

問 全ての公共施設に授乳室設置という事ではなく、文化会館や総合体育館、図書館などイベント会場になるような場所に、必要な方が安心して授乳・搾乳できる環境整備が必要

ではないか。

答 総務部長 安心して利用していただける環境を整えることは必要と認識しているが、新設・改修、移動式ルールの設置等はすぐに対応できない。まずは、既存の部屋、スペースを柔軟に活用し対応していく。

問 せめて必要な方が遠慮したり不安を抱えたりすることなく利用できるよう、「遠慮なくお声かけください」といった案内表示等で周知を。

答 総務部長 窓口等に案内表示していく。



(「児童センターひまわり」内の授乳室)

期日前投票宣誓書の改善を

記載事項を見直す予定



無所属
やまだ あつき
山田 惇起 議員



問 期日前投票が通常の投票と違う点の1つは、宣誓書を提出しなければならないことである。これは公職選挙法施行令に定められているが、市町村によって様式が異なる。

である。本町の様式は書くところが多いため、手間がかかる。簡素化して町民の負担を軽減できないか。

答 **総務部長** 自治体システム標準化によって、入場券のレイアウトが大きく変わる。期日前投票宣誓書の記載

事項の見直しを行っている。現住所の記載を省略できるよう現在調整している。今後可能な限り様式の簡素化を図り、手書き箇所を減らすなど、町民の期日前投票への負担軽減に努めていく。

地域協働についての考えは

課題解決の後押しをしていく



桑政クラブ
すぎうら としお
杉浦 敏男 議員



問 地域協働についての考えは。

答 **生活安全部長** 地域の問題や課題ごとに

さまざまなスキルを持った住民活動団体とマッチングし、お互いの力を合わせて課題解決の後押しをしていく。主に住民活動支援センターを通じてマッチングを行っており、助け合いを地域やNPO及び行政を協働という形で進めていく。

問 コミュニティ活動の指針や支援制度の整備は。

答 **生活安全部長** コミュニティにより運営方法はさまざまであることも踏まえ、現段階に



(住民活動支援センター「ぶらねっと扶桑」)

においては町独自の指針を示すことは考えていない。支援制度としては、国の支援制度として宝くじ助成金や愛知県が取りまとめている「地域コミュニティ活性化関連施策集」には防災、環境、福祉、経済など、さまざまな分野の支援

策が掲載されており、こうした情報を活用し地域のニーズに合わせた支援策を紹介していく。扶桑町独自の地域コミュニティ推進協議会助成金は24地区にそれぞれ14万円の助成金を交付している。

うに住所を手書きで書かなければならない様式、投票所の入場券の宛先と同じであれば書かなくて良いか「オモテの宛先と同じ」という欄にチェックを入れる様式、最初から投票所の入場券に住所が印刷された状態で送られてくる様式の3パターン

期日前投票宣誓書 令和 8 年 月 日

私は、令和8年2月8日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の当日、次のいずれかの事由に該当する見込みであり、以下の記載が真実であることを誓います。

氏名 (自署)	扶桑町大字	生年月日	大・昭・平 年 月 日
現住所			
該当事由	仕事、学業、冠婚葬祭	外出・旅行・滞在	
	病気、出産、歩行困難	他市町村に住所移転	
	天災又は悪天候のため		

(衆議院議員総選挙時の期日前投票宣誓書)

児童・生徒による特別活動の考えは

人生の舵取りの基礎力になる



新政クラブ
たかはし れお
高橋 怜央 議員



問 他県の小学校へ視察に行った際、児童の特技や好きなことを全校生徒の前で披露するという生徒主体の特別活動を行っていた。とてもレベルが高く、魅力のあるものであった。本町の小中学校では、児童会活動や生徒会活動、学級活動、学校行事などにおいて、児童生徒が主体的に企画・運営する機会をどのように設けているか。

で児童・生徒に委ねて創造性を育んでいる。最近の事例としては、令和5年度の新制服の導入に向けての取り組みや、生徒会主催の校則の見直し等がある。新制服検討では、異常気象等の環境問題やジェンダーの課題などを学級で話し合い、さらに両中学校の代表によるオンライン会議も経て、現在の制服デザ

インを決定していった。校則についてもより良い学校生活に向けて、生徒会として話し合いを重ね、改善している事例が多くある。特別活動のさまざまな面で体験が積み重ねられていき、今後の自分の人生の舵取りの基礎力になっていくと考える。今後も、一人一人大切な子どもの自立を支えていきたい。

答 **教育長** 児童生徒を主体とする取り組みは長く実践されている。例えば、体育大会、運動会の行事では、アトラクションや応援合戦等を、企画から運営ま



町道の安全管理は

計画的に舗装修繕工事を施工



桑政クラブ
まみや みきお
間宮 幹男 議員



問 町道の安全管理はどのように行っているか。

答 **産業建設部長** 1

級、2級町道については、現地調査、路面性状調査、ひび割れ、わ

だち掘れ、平坦性解析などを行い、扶桑町道路舗装修繕計画を策定し、計画的に舗装修繕工事を施工している。その他の道路については、町職員による日々

のパトロール、住民からの通報等により補修又は修繕による工事を実施している。

問 町道を補修するための必要な条件は。

答 **産業建設部長** 緊急性の高い修繕工事を

除き、基本的には2年に1度、地元から提出された要望書に基づき対応している。

問 道路損傷通報フォームやアプリの導入は。

答 **産業建設部長** 現時点において計画していないが、町のホームページにある「ご意見、ご要望」の問合せフォー

ム、電話、窓口で情報提供をいただいている。また、国土交通省が運用している#9910の道路緊急ダイヤルやLINEを利用した通報システムが稼働しているため、町道の損傷が通報システムへ連絡が入った場合は、扶桑町へ連絡が入る仕組みになっている。



(町道のくぼみ)

自衛隊員募集にかかる情報提供は

法定受託事務として提供している



日本共産党
あらき こうぞう
荒木 孝三 議員



問 現在、自衛隊は、集団的自衛権の行使容認の安保体制下で、日本の防衛とは無関係な米軍の軍事行動への参加など戦闘訓練を繰り広げている。地方自治体が自衛隊にその勧誘に結びつく情報提供をしていることに不安の声が寄せられているが、当局の見解は。

定されている。なお、自衛隊に自己の個人情報提供を望まない人への配慮として、ご本人、保護者などから「除外申出書」の提出により、自衛隊へ提供する情報から除外している。

答 総務部長 市町村

の法定受託事務と定められている。防衛大臣より情報提供の依頼があった場合は氏名、生年月日、性別、住所を提供。法的根拠としては、自衛隊法第97条第一項、また、自衛隊法施行令第120条に規

除外申出書

年 月 日

(あて先) 扶桑町長

自衛官等募集事務に係る募集対象者情報の提供からの除外の申出をします。

対象者 (本人)	除外対象年度	年度(1年間)
	住民登録をしている住所	〒 -
	氏 名	(フリガナ)
	生年月日	平成 年 月 日

(除外申出書)

不登校生徒の家族への支援は

家族ぐるみで理解を深め支えていく



桑政クラブ
かねまつ のぶゆき
兼松 伸行 議員



問 本町小中学生の不登校生徒の食事や家族の実態は。

答 教育長 学校内の

教室以外を居場所に行っている児童生徒は、相談室や研究室などで先生たちと一緒に給食を食べたり、教育支援センターに通っている児童生徒は弁当を持参し、指導員やスクールソーシャルワーカーとセンター内で食べたりしている。自宅で過ごす児童生徒は、家族と一緒に又は一人で食べていると思われる。お子様が学校に通えなくなったことで保護者の心理的な負担が大きいと察する。保護者相

談にはスクールソーシャルワーカーがアセスメントし、困難な事例はスーパーバイザーを交えた会議を行っている。さらに「父母の会」を開催し、互いの情報交換をするなどして、家族ぐるみで理解を深め支えていく。

問 民間サービスの「ベビー119」のような「子育て119(仮)」の

制度の創設は。

答 教育部長 本町で

はファミリー・サポート・センター事業を行っているが、中高生まで利用対象を広げると、援助する側の負担も大きい。ため現時点では考えていない。現行のサービス向上につながるよう引き続き調査・研究していく。



(子育て支援ガイドブック)



扶桑町議会では、議員報酬とは別に「**政務活動費※年額6万円**」が交付されています。

議員が何に使っているのかを見える化していきます。

※**政務活動費**とは・・・調査研究、政策立案、住民への情報発信などの活動を行う際に必要な経費を補助するための公費です。(例えば、先進地調査や研修、書籍購入、印刷製本費などです)

～研修報告～

こうめいとう 公明党 さとう ち え こ 佐藤智恵子

第1回 市町村長等・議会議員特別セミナー [4月20・21日／滋賀県]

【受講講義】

◆対話と挑戦で切り開く自治体経営～人口5万以下都市の未来戦略～

(鹿児島県日置市 市長 永山由高氏)

◆観光と地方創生

(元観光庁長官 公益社団法人大阪観光局 理事長 溝畑宏氏)

◆哲学とAI～AIと人間の関係～

(京都大学 人と社会の未来研究院 特定教授 出口康夫氏)

◆現代の若者論

(日本大学 危機管理学部 教授 西田亮介氏)

【感想】

永山氏と西田氏の講義を目的に参加しました。

特に永山氏の講義では、人口減少や年齢構成の変化、厳しい財政状況という課題に対し、民間の力を生かしながら対話を重視して挑戦を続ける姿勢を学びました。

何を言われてもやり切る行動力と覚悟に大きな感銘を受け、今後の議員活動にも生かしていきたいと感じました。



お知らせ

「会議録検索システム」 インターネット配信

扶桑町役場ホームページで議会会議録をインターネット配信していますので、ご利用ください。

扶桑町役場
ホームページ



扶桑町議会



扶桑町議会
会議録検索システム



●6月定例会分は、9月1日に更新を予定しています。

9月定例会の日程(予定)

9月 1日(火)	開会・提案説明
9月 7日(月)	一般質問
9月 8日(火)	一般質問
9月 9日(水)	議案質疑
9月10日(木)	予算決算特別委員会
9月11日(金)	予算決算特別委員会
9月14日(月)	総務経済常任委員会
9月15日(火)	福祉教育常任委員会
9月25日(金)	委員長報告・討論・採決・閉会

場所：扶桑町役場2F議場等

時間：午前9時30分から

(日程は変更になることがあります)